

会 議 録

会議名	第4回丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成29年10月4日(水) 10:00~12:00
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>出席委員 井原理代、森茂、立山雄一、久保田英俊、佐久間知恵、佐々木美紀子、藤田裕子、山下多加子、桑田桃子、佐藤常光、直井敏彦、浦山夏穂</p> <p>欠席委員 逢坂十美、岩崎正朔、小池よう子、森岡翔哉</p> <p>事務局 市長公室長 山田理恵子 (市長公室政策課) 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、総括担当長 志村芳隆、主査 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 第二次丸亀市総合計画 素案について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	ただ今より第4回丸亀市総合計画審議会を開会します。本日の配布資料の確認をさせていただきます。議事の進行は、会長にお願いいたします。
井原会長	<p>議事に入ります前に、本日16名中12名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>まず、議事の1「第二次丸亀市総合計画素案」のうち、第1部「丸亀市の現在」について事務局より説明をお願いします。</p>
政策課 宇野	<資料に基づき説明>
直井委員	SWOT分析のところですが、災害が少ないことも丸亀市の強みとしてもっとPRすべきではないでしょうか。
山地政策課長	香川県全体として災害が少ないという現状はありますが、いつ起こるかわからない災害への備えは必要でありますことから、積極的に示すのは慎重な対応が必要です。
山下委員	自治体は有事の場合の備えを知らせる側である以上、災害が少なく安全であることを前面に押し出すのはどうかということは理解できます。

山田市長公室 長	危機管理に関することは行政の大切な業務で、日ごろから市民の方にも防災についての取組みをお願いしています。委員のご意見のとおり、まちの強みに繋がる点もあるかと思いますが、危機意識を持っていただくよう発信している行政としては、強みとして表現することは難しいと考えています。
井原会長	住みよさランキングという文言のなかに、強みとして含まれるという理解でよいのではないかと思います。他にご意見はございますか。
久保田委員	「社会潮流と市への影響」のうち、少子高齢化社会の進行について、お年寄りに関する数値はありますが、子どもの人口割合や減少の推移についても明記する必要があると思います。
井原会長	「社会潮流と市への影響」と、SWOT分析に基づく「課題の整理」の繋がりが見えにくいので、関連付けをもう少し整理してまとめて欲しいと思います。
立山委員	前回の骨子案で総合計画のあり方が示されましたが、総合計画本編には掲載しないのでしょうか。また、基本構想、基本計画の起点や期間を示して欲しいと思います。それから、第1部の「丸亀市の現在」については、今後も見直す予定はあるのでしょうか。
政策課 宇野	最初の「はじめに」のところで、総合計画のあり方やねらいについてまとめています。計画期間は、始期と終期を加えて示したいと思います。第1部の内容については、第二次計画の後期計画を策定する際に、改めて見直すこととなります。
井原会長	それでは、第1部の現状を踏まえてということで、第2部の基本構想、第3部の基本計画について、説明をお願いします。
政策課 宇野	<資料に基づき説明>
井原会長	<p>まだまだ作業中の段階で、庁内での擦り合わせもまだ残っているということで、現段階で審議会として留意していただきたいことや、取り入れて欲しい内容、強めて欲しい点など、とりわけ重点施策の部分で丸亀市ならではの取組みがまとめられていますので、その点を中心にご意見をいただければと思います。</p> <p>1点確認ですが、資料②重点施策の表のうち、方向性の欄の内容は、基本計画とどのように関係するのでしょうか。</p>
政策課 宇野	基本計画の35の施策単位で、詳細をまとめていく予定としており、その項目の一つである「施策の展開」とリンクしてくるかと思います。「施策の展開」の

	<p>重要な部分を抽出して、重点施策を構成していくイメージを現時点では考えています。</p>
井原会長	<p>私ども審議会委員でも、このあたりの構成についてはもう一つ分かりにくいと感じるところで、まして市民の皆様のことを考えますと、なおさらということになろうかと思えます。構想から計画まで一連の脈絡は筋を通しながら、できる限り分かりやすくシンプルに整理して示して欲しいと思えます。</p>
直井委員	<p>重点施策の「子育てするなら丸亀」という表現ですが、子育てなどの福祉施策は、ある程度全国一律の水準で進められていると思えますので、自治体同士でサービスの充実を目指して経費が必要となり歯止めをしなければ、他の施策に影響が出るのが心配されます。</p>
山地政策課長	<p>子育て支援は、これまでも市として力を入れて取り組んできた分野の一つです。人口減少時代において、定住人口を維持していくためには、まずは子育て世代に対する支援により、一人でも多く子どもを産んでいける環境づくりを行っていく必要があります。委員のご意見にありますとおり、どこまで経費をかけるのかという点はございますが、今後の方向性としても重要な施策であると考えています。</p>
久保田委員	<p>子どもや高齢者福祉の取組みは、経費が伴うものだけでなく、それぞれの地域で子育てを支え合う仕組みや、子どもやお年寄りを大切にする気運なども含まれると思えますので、他のまちには負けない子育て環境を目指すことは、大切な視点だと思います。</p>
井原会長	<p>財政状況が厳しいなかで、財源を無尽蔵に投入するようなことがないよう配慮して欲しいということだと思います。予算の強弱の付け方は、地域によって違っていいのではないかと思います。</p>
佐藤委員	<p>第二次総合計画期間中の基金の状況を見ましても、財政状況を踏まえただうえで、地域などどのように協力し、子育てをはじめとした住みよいまちを目指していくか、その方策を考えることが大事だと思います。働き世代が増えることは、地域の活性化につながります。</p>
井原会長	<p>社会保障の増加などの脅威はSWOT分析として押えられてますし、「課題の整理」として健全な財政運営が掲げられていますので、財政状況を踏まえながらの計画づくりを進めていただけるものと思えます。</p>
久保田委員	<p>社会保障費については使い方が重要で、効果の薄い取組みは検証し、本当に必</p>

<p>桑田委員</p>	<p>要とされる方に有効に活用して、丸亀市の福祉を充実させて欲しいと思います。</p> <p>私の周りで、高校卒業後の就職に悩んでいる方の話を聞きますが、和菓子職人の立場で申しますと、旧丸亀市内では丸亀うちわや一貫張などの職人がいらっしゃるなかで、第一次産業も含めて、後継職人の育成に関する事を、重点施策の要素として取り入れてはどうかと思います。</p>
<p>井原会長</p>	<p>少し関連して、立山委員にお聞きしますが、いわゆる学び直しなど、労働力の点で新たな職業能力の育成が必要とされるなかで、四国職業能力開発大学校は、今後も大事な役割を果たしていただけるのではないかと感じています。以前の審議会でも高等教育機関についてのご意見がありましたが、ただ今の桑田委員のご意見のように、地域や社会の要請に応えられるような体制の整備は可能でしょうか。</p>
<p>立山委員</p>	<p>私どもの学校は、あくまで高等学校の新卒者を対象としています。学び直しの関連で申しますと、高松市にある香川職業能力開発促進センターで、離職者・転職者の求職者向けに職業訓練を行っており、私どもの組織の中で役割を分けています。就職が前提であることに変わりはありませんので、地元への就職に繋げる点で協力できる部分はあると思います。</p>
<p>井原会長</p>	<p>私が香川大学に赴任していた時、第一次安倍内閣の頃ですが、学び直し事業を大学にも導入して欲しいという話があり、新たに取り組んだ経緯があります。これからの時代を踏まえて、新しい事業展開を行って行く可能性はないのでしょうか。</p>
<p>立山委員</p>	<p>高卒者が減少し始める、いわゆる 2018 年問題に対しての危機感を持っており、そうした意味で検討する可能性はあるかもしれませんが、現行の体制として香川職業能力開発促進センターがある状況で難しい面はあります。</p> <p>私どもの学校でも、過去に離職者に対するアビリティ訓練というものを行っていた経緯がありますので、状況として必要になり組織の方針として示されれば、同じようなものが復活することもあり得るとは思います。</p>
<p>井原会長</p>	<p>丸亀ならではという取組みにも繋がりますので、国の動向を待つことなく、丸亀の四国職業能力開発大学校から問題を提起して、モデルになるくらいの気持ちで検討して欲しいと思います。</p>
<p>久保田委員</p>	<p>商店街の活性化にも関連しますが、現代の状況として、空家や空地の活用を計画に盛り込む必要があると思います。</p>

山下委員	<p>地元の建設業などが集まって、スポンサーを募り、空家をリノベーションして外国人の移住者を呼び込もうという取組みもなされています。</p>
井原会長	<p>桑田委員のお店もリノベーションされたと思います。</p>
桑田委員	<p>私の店舗は登録文化財にさせていただきましたが、国など行政の助成制度はなく、開放できるまで手を加えられなかったので、歴史があるものを残していく支援があれば良いと思いました。</p>
井原会長	<p>リノベーションにあたっての費用面や活用は課題だと思いますが、歴史が残る城下町にあって、とても大切な手法であり、空家対策も含めて重点施策の要素として良いのではないかと思います。</p> <p>それから、職人の育成については、どのようなかたちで検討できるのでしょうか。例えばうちわ職人は専ら自助努力という状況ですか。</p>
政策課 宇野	<p>うちわの作製は、竹を割く作業、張る作業など、本来分業制でそれぞれ職人の方がいるのですが、専門で行う後継者が出てこないという問題もあり、現在の市の取組みとしては、「後継者育成講座」として製作工程の一連の作業を学べる取組みを行っています。</p>
森副会長	<p>私どもの造船業界では、今治市に造船技術センターというものがあり、私もその立ち上げに関わりましたが、3ヶ月間で溶接を始めとした資格を取れるようになっており、一番習熟度の高いケースでは2年間の業務経験と同じくらいの技能を得られるようになっていきます。職業訓練の趣旨で国などの補助金を得ながら進めましたが、職人、技能の育成は、業界そのものが相当真剣にならないと、なかなか難しい面があります。</p>
井原会長	<p>伝統産業や歴史的なまち並みは、丸亀にとって大切な宝ですね。</p>
直井委員	<p>空家を除却する方の補助はありますが、リノベーションなど残すべきものの補助制度もあれば良いと思います。手入れすればまだ使用できるような物件まで、壊されているように思います。</p>
山地政策課長	<p>現在の取組みとして、まずは、近隣に危険を及ぼすような老朽危険空家に対して助成し除却を進めていますので、使用できる可能性がある物件の除却を補助しているものではありません。</p>
井原会長	<p>第二次総合計画のこれからの8年、空家の問題は大きくなると想像されますので、リノベーションなどの積極的な活用と老朽危険空家の除却、両方の側面から</p>

	<p>空家対策を進める必要があると思います。</p> <p>委員から様々なご意見をいただきましたが、今後庁内の各担当と調整されるようですので、検討課題として活用していただければと思います。</p>
山地政策課長	<p>いただいたご意見は担当課に伝えます。空家の問題については、昨年に所管の環境安全課が空家対策計画を策定しておりますので、その点も調整しながら進めたいと思います。</p>
森副会長	<p>資料②の要素の欄の記述は、計画の内容に出てきますか。</p>
政策課 宇野	<p>今の想定では、重点プロジェクトなどに表現したいと考えています。</p>
山地政策課長	<p>全ての内容というわけではありませんが、こちらに掲載しているものの中から重点プロジェクトに入ってくるものもあると思います。</p>
藤田委員	<p>保育士の確保という要素について、以前から言われていることですが、現場では保育士不足により子どもたちが入所できない現実があります。国や県も様々な施策を進めており、資格を持ちながら仕事を一旦離れた方に、研修を受けてもらって復職してもらうような取組みも行っていますが、それでも保育士を担ってくれる方が少ないのが現状です。</p> <p>ここ数年、市も新規採用や経験者の採用を進めていますが、短大や専門学校で保育資格の取得を目指す方でも、親の勧めという理由からで、子どもの成長に関わろうという意思を持って入学される方が少なく、実習に来て自信が持てないということも聞きます。人格形成の土台となる就学前において、子どもたちが接する保育現場の方の人間性など人的環境は大切であり、保育士の確保というよりも、丸亀の保育の質を維持するために、丸亀の保育を理解してもらう学生を育成していくという視点の必要性を感じています。</p>
山下委員	<p>私どもの職場でも、保育所が足りておらず、職場に復帰できない職員もいるなかで、ある支店では企業内保育所が立ち上がりました。企業内保育所は、一般開放して良いという動きも出ており、今後も様々な企業が取り入れていくことが予想されますので、例えば子育てが一段落着いた方などで、資格は持っていないけど、保育所で働きながら資格を取れるような仕組みができれば良いと思います。</p>
井原会長	<p>保育士資格については、かつてよりも柔軟になりつつあると聞いています。本計画を策定するうえでも、問題提起として受け止めておきたいと思います。そのほか、ご意見はございますか。</p>
佐々木委員	<p>子育て中の立場として、重点施策に「子育てするなら丸亀」という言葉が一番</p>

佐久間委員	<p>初めにくることは嬉しく思います。</p> <p>安心して暮らせるという基本方針に関連して、情報発信の立場からですが、市からの災害に関する情報をケーブルテレビで情報提供しています。今後も安全安心の意識は高まってくると思いますので、連携についてより工夫ができればと思います。</p>
浦山委員	<p>大学のプロジェクトの関係で、商店街の活性化に関わっていますが、要素がリノベーションだけでは寂しい気がします。</p>
井原会長	<p>今回の内容については、事務局でもまだまだ検討途中とのことで、再度計画案が示されると思いますので、改めてご意見をいただければと思います。それでは次に、第4部の計画の推進について説明をお願いします。</p>
政策課 宇野	<p><資料に基づき説明></p>
井原会長	<p>行政運営方針として、協働の視点を加えたいとの説明がありましたが、基本構想で、最初に市民が主役というキーワードを掲げておりますので、何らかのかたちで表して欲しいと思います。そのほか、全体を通してご意見はございますか。</p>
直井委員	<p>私の地元の金倉町では、人口が増えているものの、自治会員は減少しています。自治会レベルでの数値目標設定など下からの積み上げとともに、自治会・コミュニティを軸にした行政運営方針をお願いしたいと思います。</p>
久保田委員	<p>統計資料は国勢調査が基礎になると思いますが、年少人口、生産年齢人口、老年人口の区分に加えて、18歳未満の人口推移についても、市のこども未来計画では押えられていますので、計画の施策の対象を明らかにする意味でも、合わせて示すことについてご検討いただければと思います。</p>
山地政策課長	<p>こども未来計画は現在中間見直しを行っておりますので、確認したいと思いません。</p>
井原会長	<p>本日はたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。最後に、その他で事務局より何かございますか。</p>
政策課 宇野	<p><次回の日程について説明></p>
井原会長	<p>それでは、以上を持ちまして、本日の会議を終了します。</p>

(会議終了)